大切なお子様の安全のために正しくお使いください。

# おしゃべり カーゴ三輪車 minnie ミニー

## 取扱説明書

目次



お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

## ① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

**⚠警告** 身体に関する危険
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

**注 意** 財物や商品本体に関する危険
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

## ② 安全上の注意事項

【おしゃべりカーゴ三輪車をご使用のお客様へお願い】

おしゃべりカーゴ三輪車は公園等、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかる等思わぬ怪我の原因となることもありますので使用しないでください。店舗等におけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上ご使用されるようお願い致します。

●ＳＧマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する保証制度です。
●この商品はＳＧ基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗りください。
●対象年齢：１.5 歳～5 歳未満　　身長目安：８０cm～１００cm まで
　乗車体重：20kg まで　※カゴの制限重量(８kg)は含みません。

### ⚠警告

●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者の下で遊ばせてください。
●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
●ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると隙間等で思わぬ怪我をする恐れがあります。
●坂道での使用は、避けてください。
●交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
●２人乗りなどの危ない乗り方は絶対しないでください。
●車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
●お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
●幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
●コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し、ロック＆フリー機能をフリーの状態にしてください。
●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
●業務用・団体用で使用しないでください。
●三輪車以外の目的では使用しないでください。
●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。
●カゴの取り外しは保護者が行ってください。手を挟む恐れがあります。十分気を付けて取り外しを行ってください。
●カゴを外した際は必ずソケットにキャップをしてください。キャップをしないと指等が入り危険です。
●カゴを後ろから押して遊ばないでください。カゴが変形する原因になります。
●カゴにペット(犬・猫等)や生き物を入れないでください。
●カゴにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください(制限重量８ kg 以下)。破損による怪我の恐れがあり大変危険です。

《乾電池を誤使用すると発熱、破損、液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》

●充電池(ニカドなど)およびニッケル系乾電池(オキシライド乾電池など)は使用しないでください。
●古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないでください。
●長時間使用しないときは必ずスイッチを切り、電池を外してください。
●＋－(プラスマイナス)を正しくセットしてください。
●電池をショートさせたり、充電、分解、加熱したり、火の中に入れないでください。
●万一、電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い医師に相談してください。皮膚や、服に着いたときは水で洗ってください。

### 注 意

●屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
●火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。
●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」、「注意」が表記してありますので、そちらもお読みください。

## ③ 梱包内容

フレーム：1

前輪付き
ハンドル：1

背もたれ：1

サドル：1

コントロールバー：1

バスケット：1

ステップ：1

ステップ取り付け部品：1

ステップホルダー：1

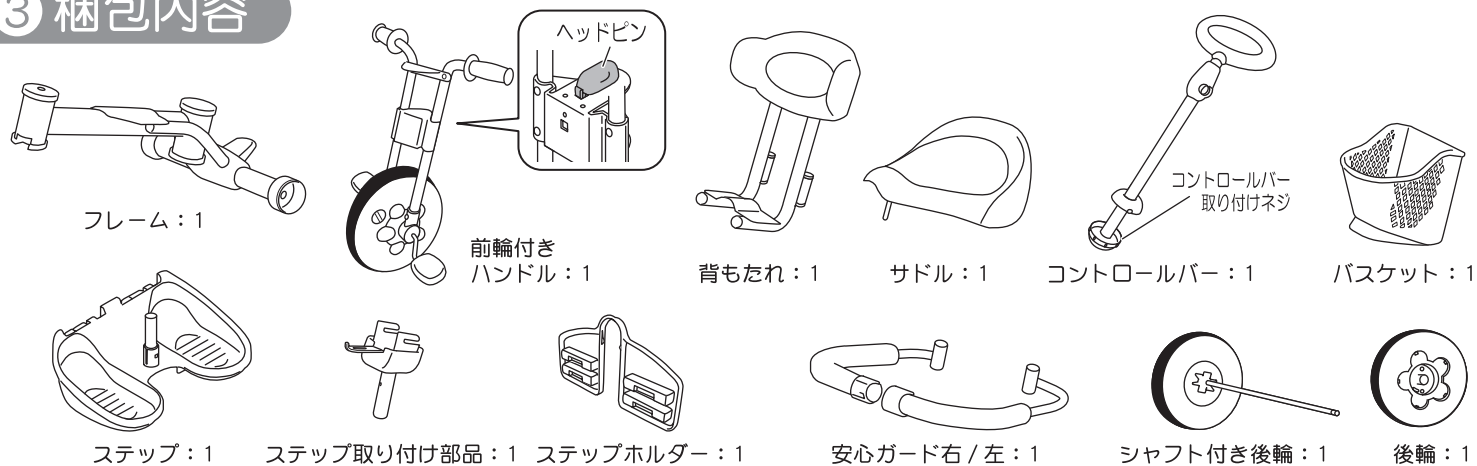
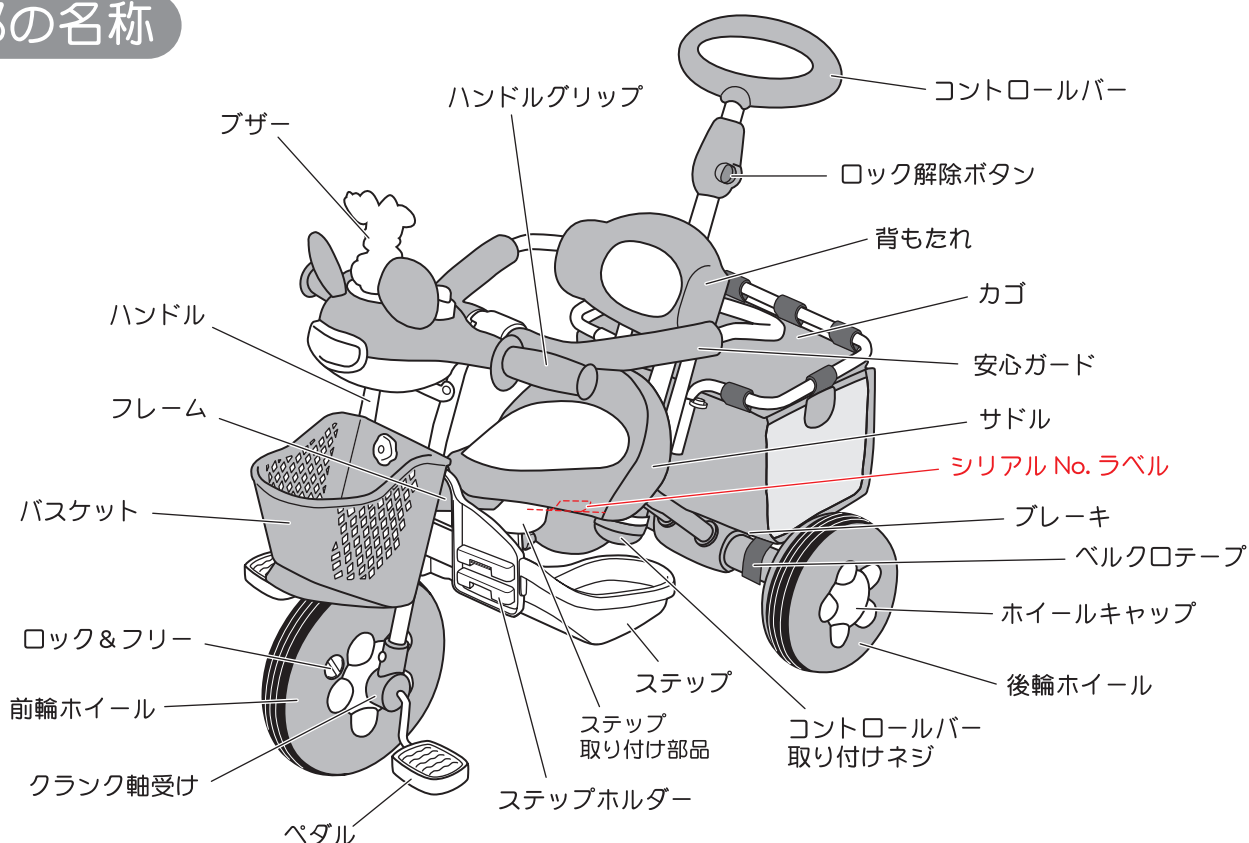
安心ガード右 / 左：1

シャフト付き後輪：1

後輪：1

カゴ：1

ブザー：1

取扱説明書：1
はがき：1

**袋入り・・・** 袋入り部品は２袋に分かれて後輪およびシャフト付き後輪といっしょに梱包されています。

ロック金具：1

角根ネジ大：1
角根ネジ小：1

後ホイールキャップ：2

ハンドル
ストッパー：1

ノブナット大：3

ノブナット小（赤）：2

ノブネジ：1

ストッパー：1

取り付け工具：1

## ④ 各部の名称

ハンドルグリップ
コントロールバー
ブザー
ロック解除ボタン
背もたれ
カゴ
ハンドル
安心ガード
フレーム
サドル
シリアル No. ラベル
バスケット
ブレーキ
ベルクロテープ
ホイールキャップ
ロック＆フリー
後輪ホイール
ステップ
前輪ホイール
ステップ
取り付け部品
コントロールバー
取り付けネジ
クランク軸受け
ステップホルダー
ペダル

**【材質】**

フレーム：スチール
ハンドル：スチール
コントロールバー：スチール
安心ガード：スチール
コントロールバーグリップ：ポリプロピレン（PP）
前バスケット：ポリプロピレン（PP）
前 / 後輪ホイール：ポリプロピレン（PP）
サドル：ポリプロピレン（PP）
背もたれ：ポリプロピレン（PP）
ステップ：ポリプロピレン（PP）
サドルシート：塩化ビニール（PVC）
背もたれシート：塩化ビニール（PVC）
前 / 後輪タイヤ：塩化ビニール（PVC）
ハンドルグリップ：熱可塑性エラストマー（TPE）
安心ガードクッション：ポリウレタン（PU）
カゴ：ナイロン / ポリエステル

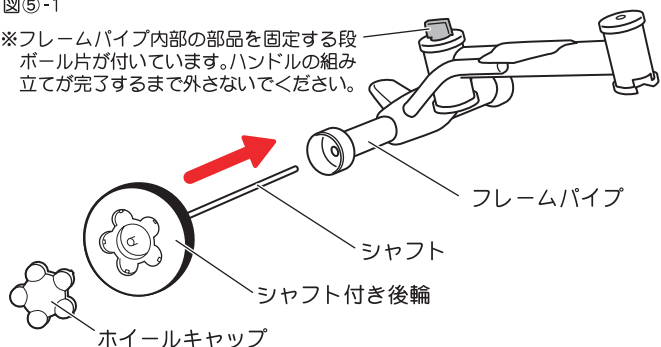
## ●ネジの種類の確認

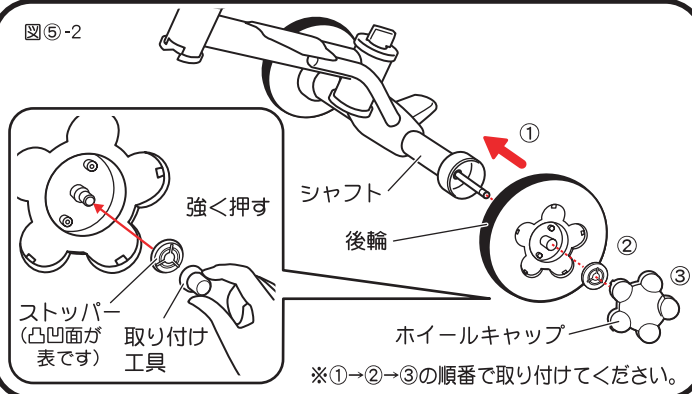
・ネジは 2 種類あります。右図は原寸のイラストと使用箇所の記載です。確認のためにご使用ください。

角根ネジ大：1本
・P4【背もたれの取り付け】

角根ネジ小：1本
・P4【ステップの取り付け】
・P7【ステップの高さ調節方法】
・P9【ステップの取り外し方法】

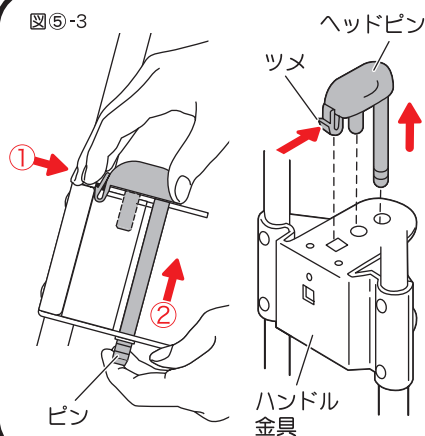
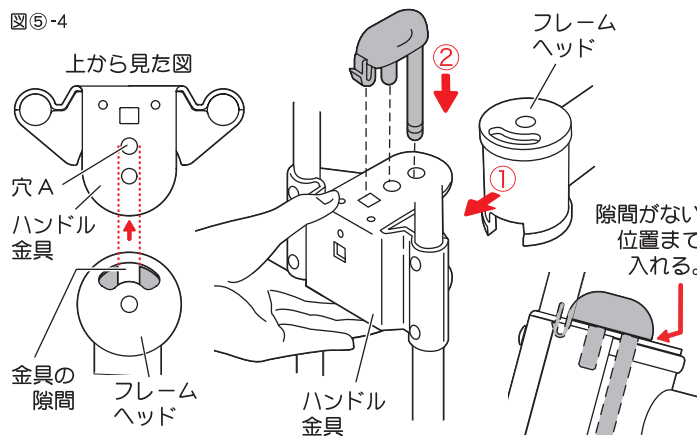
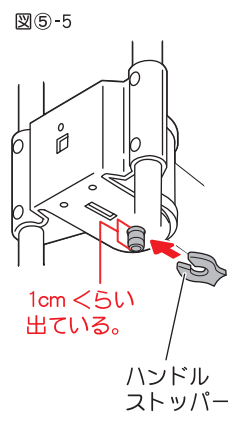
# ⑤組み立て方法

## ●シャフト付き後輪の取り付け

・シャフトをフレームパイプに通します。
・シャフト付き後輪にホイールキャップをはめ込みます。

## ●後輪の取り付け

①シャフトに後輪を通します。
②取り付け工具を使用してストッパーで固定します。
③後輪取り付け確認後、ホイールキャップを取り付けます（取り付け工具はストッパーを固定したら不要となりますので、ホイールキャップの中には入れないでください）。

**注 意**

●ストッパー取り付け後、後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
●ストッパーは、一度取り付けると外すことができませんのでご注意ください。

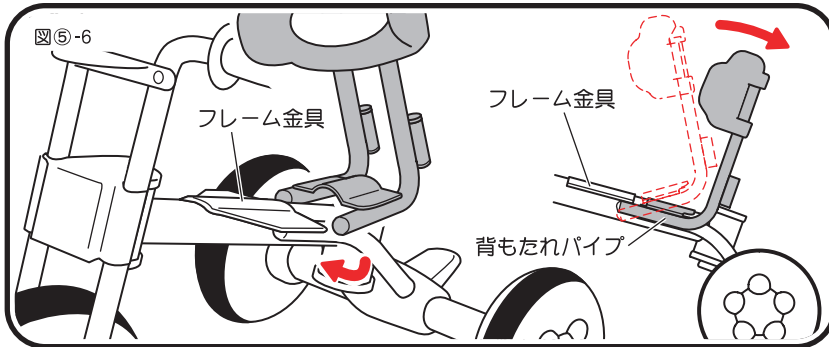
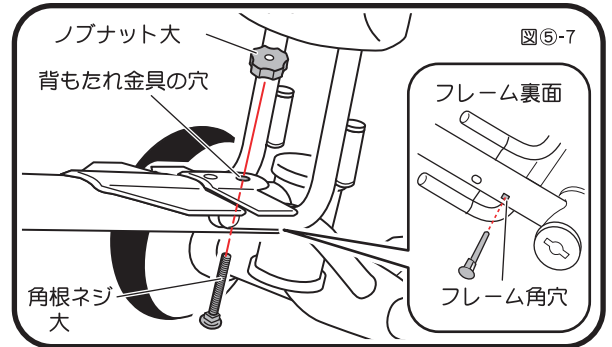
## ●ハンドルの取り付け

・ハンドルを取り付ける前に、ハンドル金具に付いているヘッドピンを取り外します。
・ヘッドピンのツメを矢印①の方向に押しながら、ハンドル金具の下部分から出ているピンの先端を矢印②の方向に押し上げ、引き抜いてください。

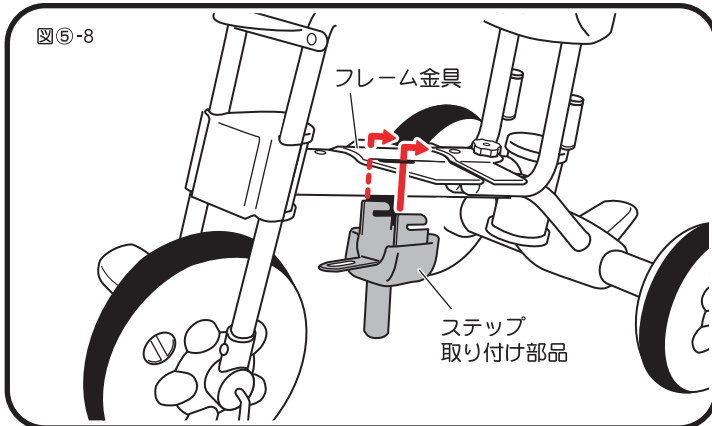
・ハンドル金具にフレームヘッドを矢印①の方向に入れます。
・フレームヘッドの長い穴から見える金具の隙間とハンドル金具の穴Aが合うように入れてください。金具の隙間と穴Aがズレているとヘッドピンが根元まで入りません。
・ハンドル金具の穴に矢印②の方向でヘッドピンを入れます。その際ハンドル金具の下部分を支えながら差し込みます。下部分を支えないで組み立てようとすると、ハンドル金具が曲がる恐れがあります。
・ハンドル金具の上面とヘッドピンに隙間がない位置まで、ヘッドピンが入っているか確認してください。

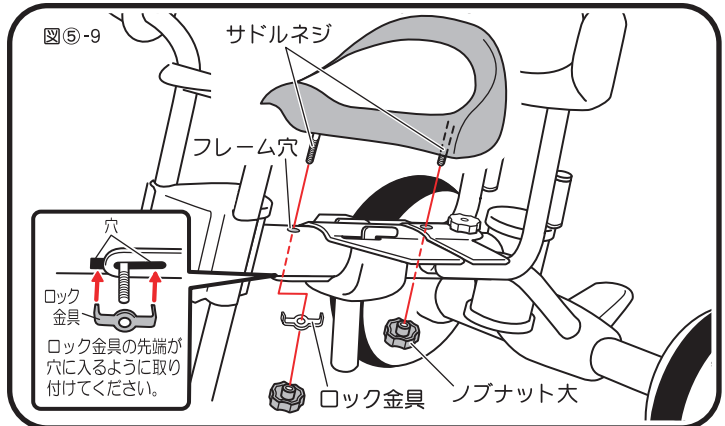
・ハンドル金具下からヘッドピンの先端が1cmくらい出ていることを確認してください。
・ピン先端の溝にハンドルストッパーを取り付けます。

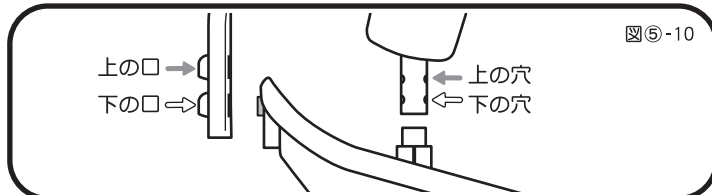
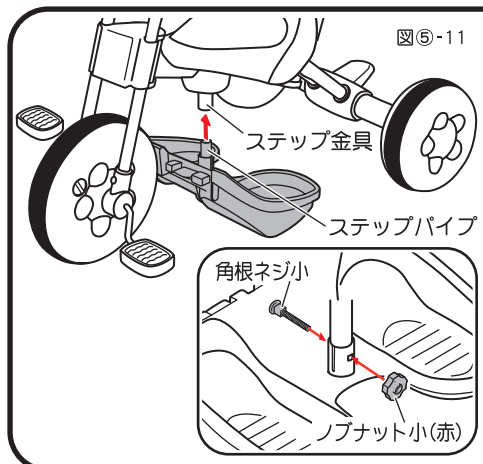
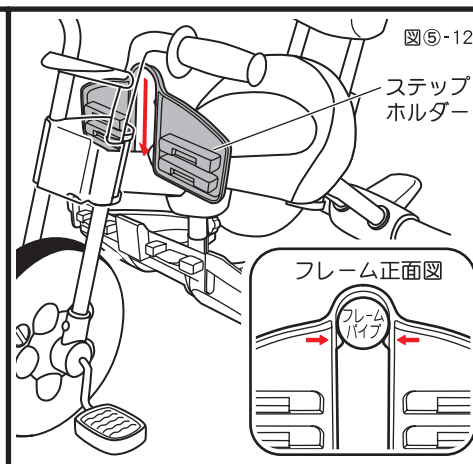
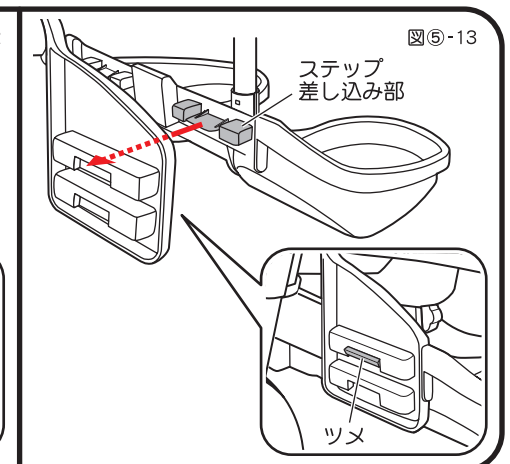
**注 意**

●ハンドル金具の下からヘッドピンの先端が 1cm くらい出ていない場合は正常な組み立てではありませんのでご注意ください。
●ヘッドピンを差し込まない状態で無理な力を加えないでください。ハンドル金具が変形して、ヘッドピンが固定できなくなります。

## ●背もたれの取り付け

・背もたれパイプ先端がフレーム金具の下になるように置いてください。

・フレーム角穴から角根ネジ大を入れ、ネジ先端が背もたれ金具の穴から出たらノブナット大で強く締めつけてください。

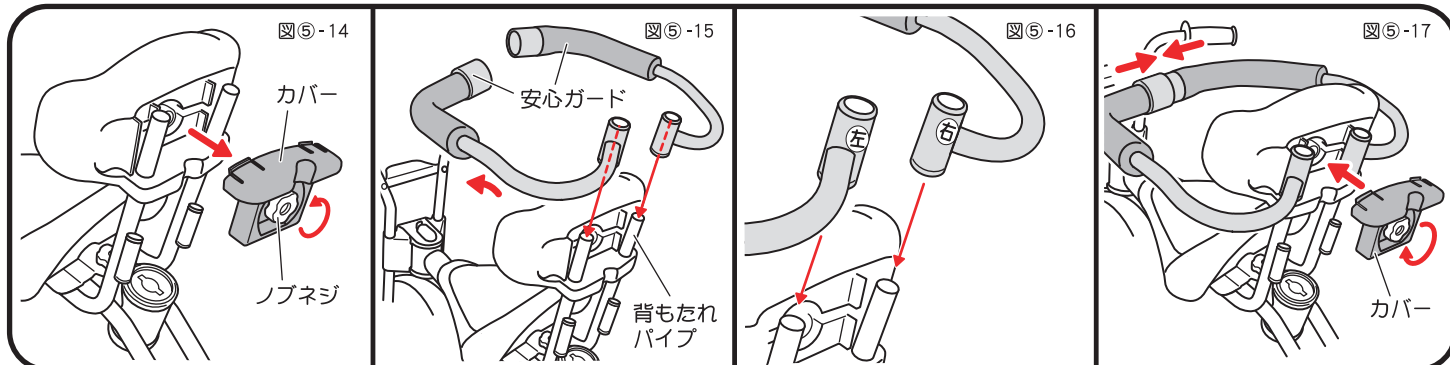
## ●ステップ取り付け部品の取り付け

・ステップ取り付け部品の先端をフレーム金具の穴に入れ、後ろへずらして引っかけてください。

## ●サドルの取り付け

・サドル裏にあるサドルネジをフレーム穴に貫通させてください。
・フレーム下からネジ先端が出たらロック金具を取り付け、ノブナット大で固定してください（ロック金具は前方ネジだけに取り付けるものです）。

## ●ステップの取り付け

・ステップを固定するときに高い位置か低い位置かを選んでください。高い位置は上の穴と上の口で固定します。低い位置は下の穴と下の口で固定します。

・ステップパイプをステップ取り付け部品に差し込み、角根ネジ小とノブナット小（赤）で固定します。

・ステップホルダーをフレームパイプに差し込みます。

・ステップ差し込み部をステップホルダーの差し込み口に取り付けます。ステップホルダーの表面からステップ差し込み部のツメがしっかり出ているか確認してください。

**注 意**

●ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
●ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

## ●安心ガードの取り付け

・背もたれ裏のノブネジを回し、カバーを取り外してください。

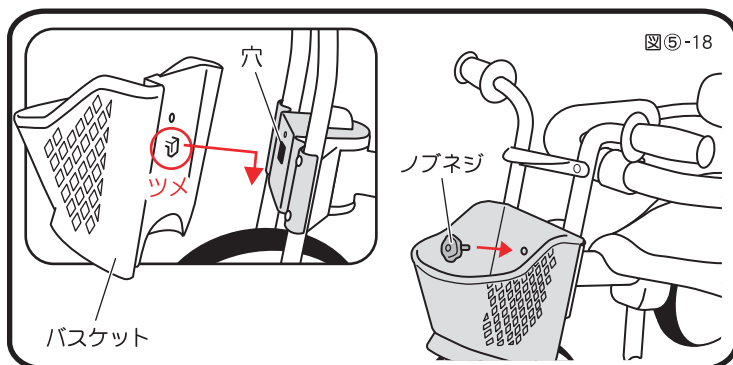
・安心ガードを背もたれパイプに差し込んでください（背もたれを少し前に倒すと差し込みやすくなります）。

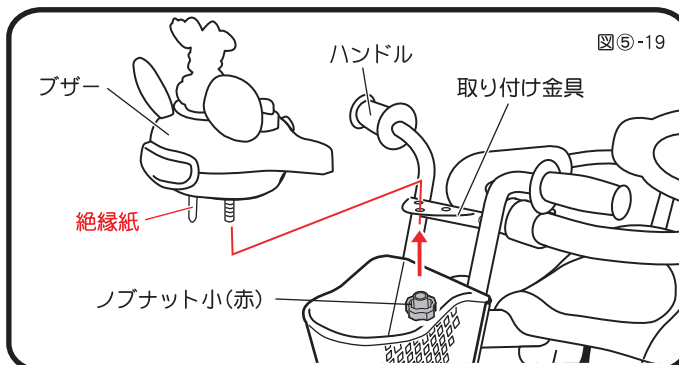
・安心ガードには「㊧」「㊨」が記してあります。三輪車の後ろから見て左のパイプには㊧を、右のパイプには㊨を差し込んでください。パイプは**下につくまで**差し込んでください（下まで差し込まないとカバーが取り付きません）。

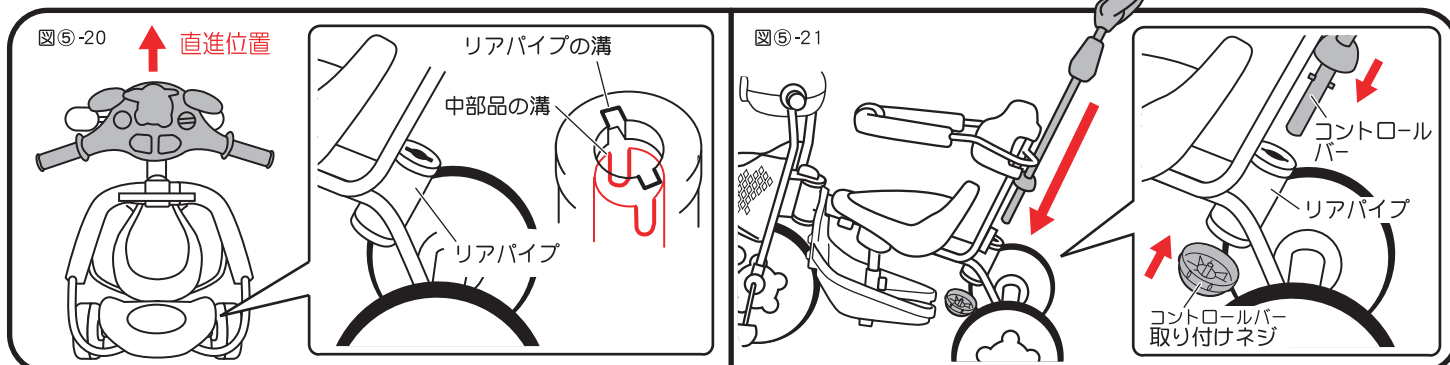
・安心ガードを閉じてからカバーを取り付け、ノブネジで固定してください。カバーを取り付けるときは**強く**押しながらノブネジを締めてください（安心ガードの閉じ方の詳細は７Ｐ図⑧-1を参照）。

**注 意**

●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードを使用する際は手や指を挟まないように注意してください。
●安心ガードの開閉は保護者が行ってください。

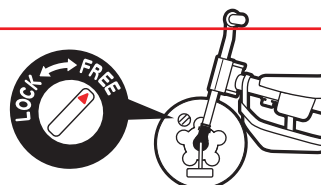
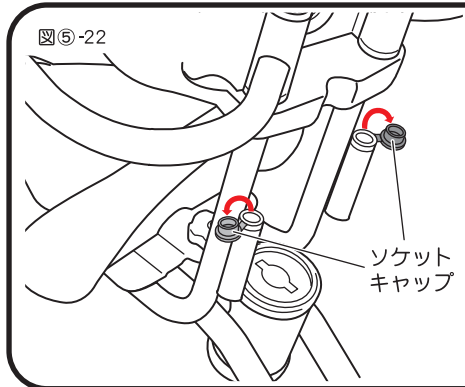
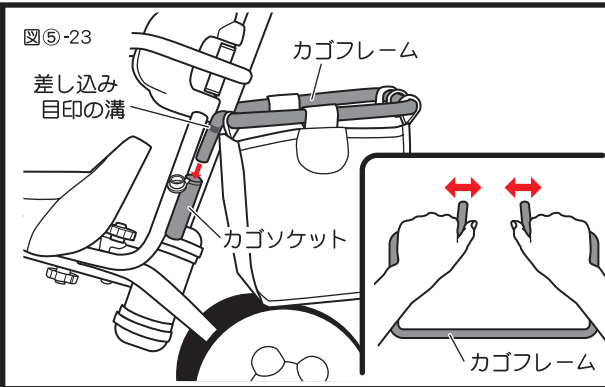
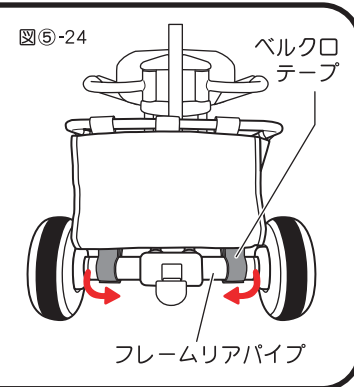
## ●バスケットの取り付け

・バスケット裏のツメを本体の穴に入れ、引っ掛けます。
・ノブネジでバスケットを固定してください。

## ●ブザーの取り付け

・ブザー底面のネジを取り付け金具の穴に差し込みノブナット小（赤）で固定してください（ご使用前に絶縁紙を引き抜いてください）。

## ●コントロールバーの取り付け

・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズレているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください（ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズレているときはハンドルを動かしてください）。

・図のような向きでコントロールバーをリアパイプに差し込み、コントロールバー取り付けネジで締め付け固定してください。コントロールバー取り付けネジがリアパイプにしっかりはまったことを確認してください（ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません）。

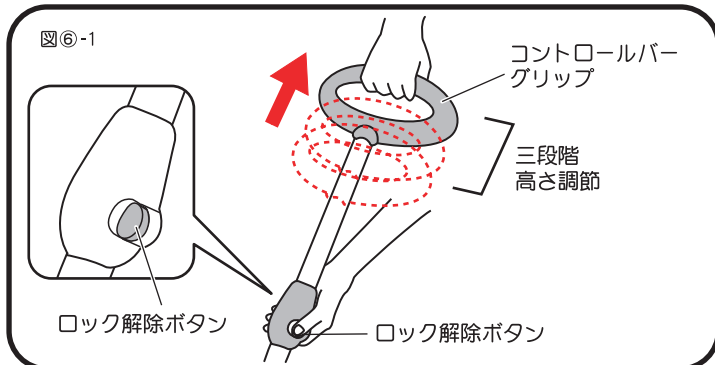
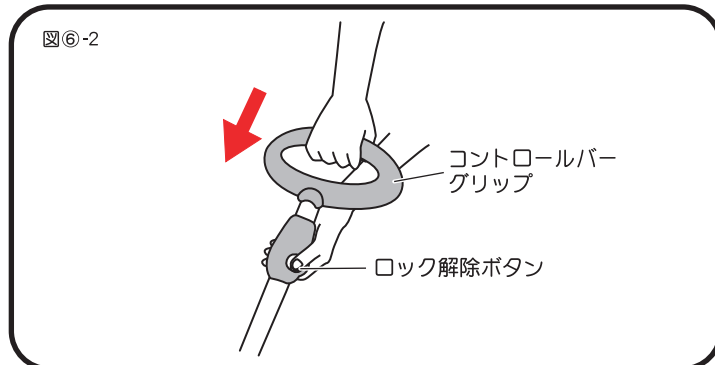
**必ず確認してください。**

●ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。
※ロック＆フリー機能については 10 ページ【⑮ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください。
●コントロールバー取り付けネジがゆるんでいないことをご使用前に確認してください。

## ●カゴの取り付け

・ソケットキャップを開けます。

・カゴフレームの先端を左右２カ所のカゴソケットの幅に合わせて差し込んでください。このとき、カゴフレームの差し込み目印の溝までしっかりとカゴソケットに差し込んでください。

・フレームリアパイプとカゴ底面のベルクロテープで２カ所をしっかりと固定します。

**注 意**

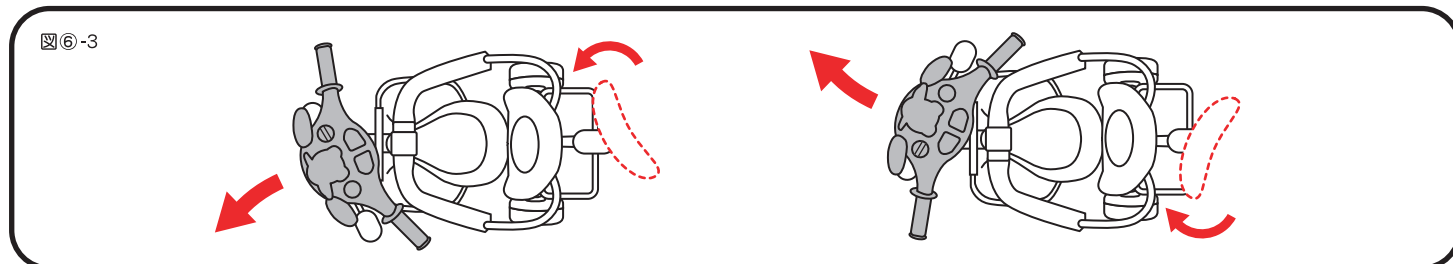
●カゴの取り付けは保護者が行ってください。指や手を挟む恐れがあります。
●カゴやカゴフレームにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください（制限重量８kg 以下）。
破損の恐れがあり大変危険です。
●カゴに鋭利なものを入れないでください。カゴ部分が破れる恐れがあります。

# ⑥ コントロールバーの操作方法

## ●コントロールバーの高さ調節方法

・ロック解除ボタンを押して（左右どちらか一方）コントロールバーグリップを矢印の方向へ引き、ボタンから指を離して「カチン」と音がするまで引き上げてください。高さは三段階に調節できます。

・ロック解除ボタンを押してコントロールバーグリップを矢印の方向へ下げ、ボタンから「カチン」と音がするまで下げてください。

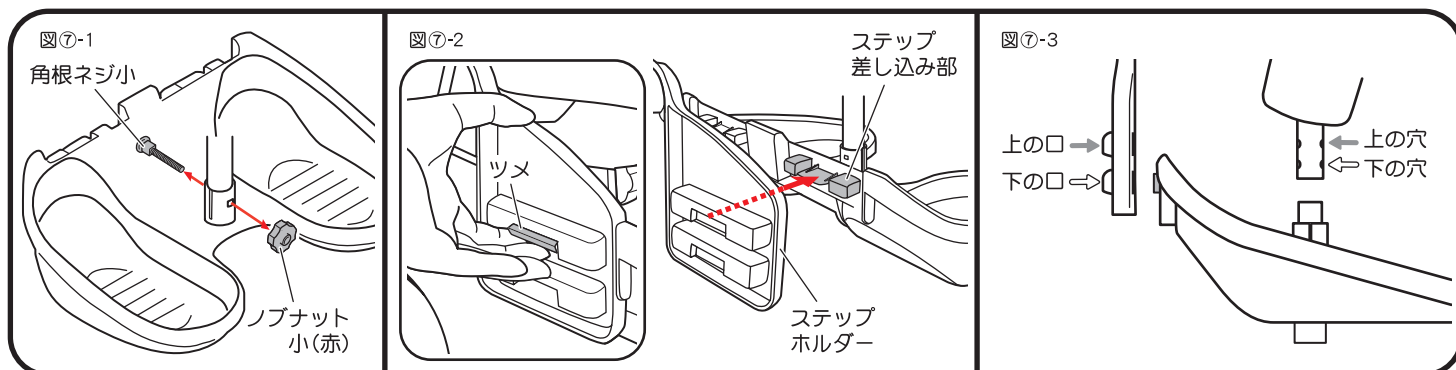
**注 意**

●コントロールバーを上下させる際は、滑り落ちないようにグリップをしっかり持ち、ロック解除ボタンを押してください。

## ●コントロールバーで曲がるときの方法

・左に曲がる場合はコントロールバーを左に切ります。右に曲がる場合はコントロールバーを右に切ります。

**注 意**

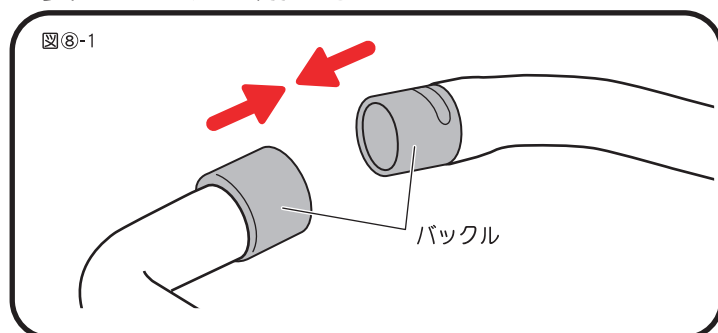
●コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態（10 ページ図⑮-2 参照）にしてください。
●コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、下げたりしないでください。
●段差のある場所でのご使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。
●コントロールバーをご使用の際、ハンドルを左右に切るときに多少のあそびができたり、中で部品が動く音がすることがありますが設計上のものであり異常ではありません。

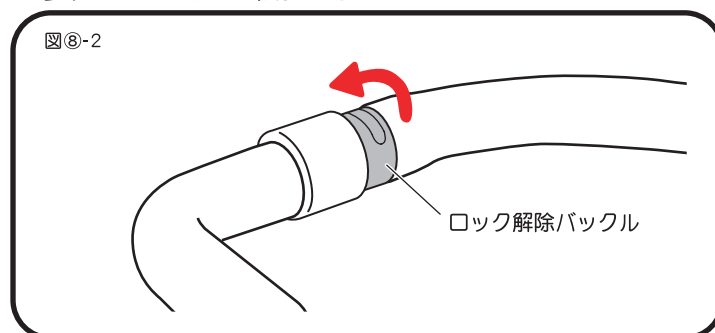
## ⑦ ステップの高さ調節方法

・ステップを固定しているノブナット小(赤)をゆるめ、角根ネジ小を抜きます。

・ツメを押し上げながらステップホルダーからステップ差し込み部を抜きます。

・ステップを固定する際に高い位置か低い位置かを選んでください。高い位置は上の穴と上の口で固定します。低い位置は下の穴と下の口で固定します（ステップの取り付けの詳細は4ページの図⑤-10～13を参照)。

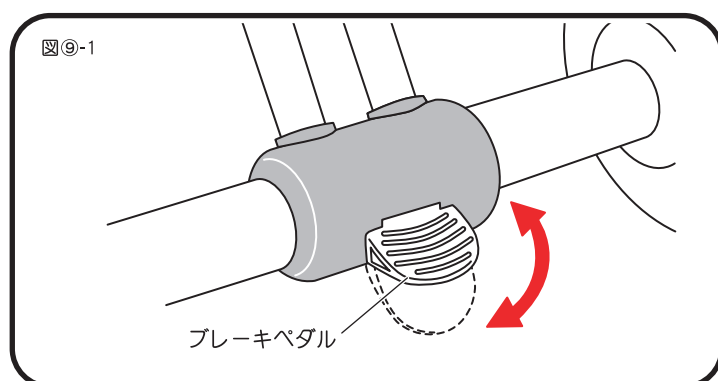
## ⑧ 安心ガードの開閉方法

### ●安心ガードを閉める

・安心ガードの左右のバックルが三輪車の中心で重なるように合わせてください。バックルが重なると同時にロックがかかります。

### ●安心ガードを開ける

・ロック解除バックルを前方へひねるとロックが解除され、安心ガードを開くことができます。

**注 意**

●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉は保護者が行ってください。
●安心ガードを使用する際はバックルで手や指を挟まないように注意してください。

## ⑨ ブレーキの取り扱い

・三輪車を固定する際は、ブレーキペダルを下げてブレーキをかけてください。
・ブレーキを解除したいときはブレーキペダルを上げてください。

**⚠警告**

●三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
●お子様を三輪車に乗せたときはブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。

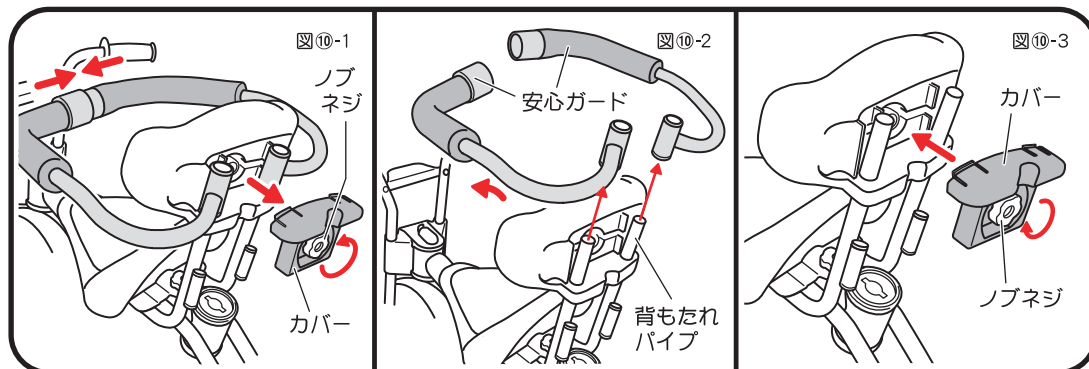
**注 意**

●ブレーキペダルの上げ下げは保護者が行ってください。
●三輪車を動かす前に必ず、ブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

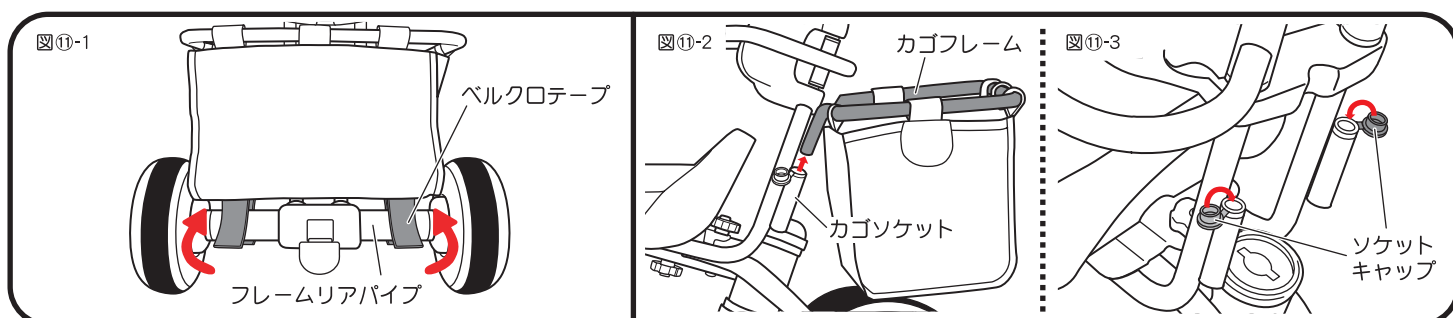
## ⑩ 安心ガードの取り外し方法

・安心ガードを閉じた状態で背もたれ裏のノブネジを回し、カバーを取り外してください。

・安心ガードを開き、片側づつ取り外してください（背もたれを少し前に倒すと取り外しやすくなります）。

・カバーを取り付け、ノブネジで固定します。

**注 意**

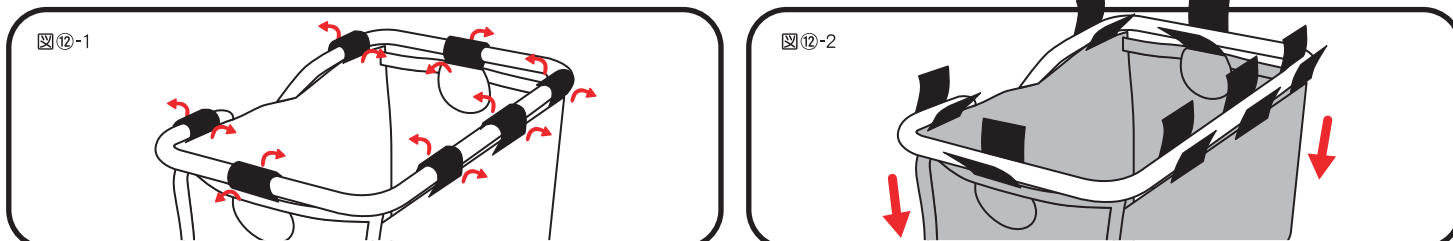
●カバーを外したまま使用しないでください。

## ⑪ カゴの取り外し方法

・フレームリアパイプとカゴ底面のベロクロテープを取り外します。

・カゴソケットからカゴフレームを抜き、ソケットキャップを閉めます。

**注 意**

●カゴを取り外した際は、必ずソケットにキャップをしてください。キャップをしないと指等が入り危険です。
●カゴフレームのみ（カゴ布部分を取り外した状態）では使用しないでください。

## ⑫ カゴ布部分の取り外し方法

・カゴフレームからベルクロテープを全てはがして取り外します。

・カゴフレームからカゴ布部分を取り外します。

**注 意**

●カゴの取り外しは保護者が行ってください。
●カゴ布部分は洗うことができます。洗濯の際は右の項目を参照してください。
●カゴ布部分を洗濯後、取り付けるときは【カゴ布部分取り外し方法】を　逆の手順で行ってください。
●カゴに鋭利なものを入れないでください。カゴ布部分が破れる恐れがあります。
●取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。
●このカゴは「おしゃべりカーゴ三輪車」専用です。他の用途には使用しないでください。
●このカゴの品質保証は本体保証書に則します。お客様の不注意による破損や洗濯による色落ちなどは保証の対象外となります。

●型くずれを防ぐため、やさしく手洗いしてください。染料が色落ちする場合がありますので他のものと一緒に洗わないでください。また長時間の付け置きもしないでください。

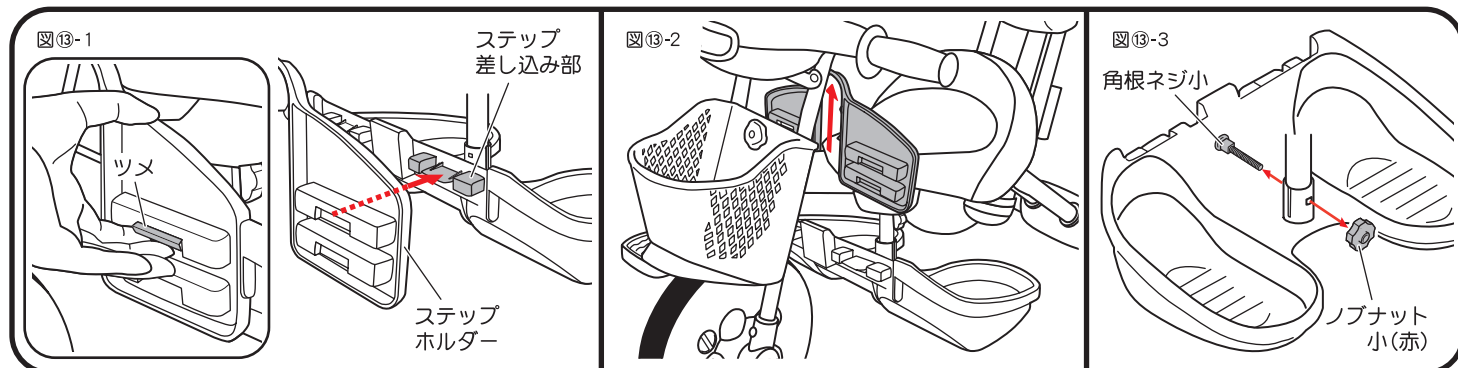
●洗った後はしぼらないでください。タオルなどに押し付けて水気を取り除いてください。

●水気を取り除いた後、型を整えて日陰で平干しし、十分に乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。

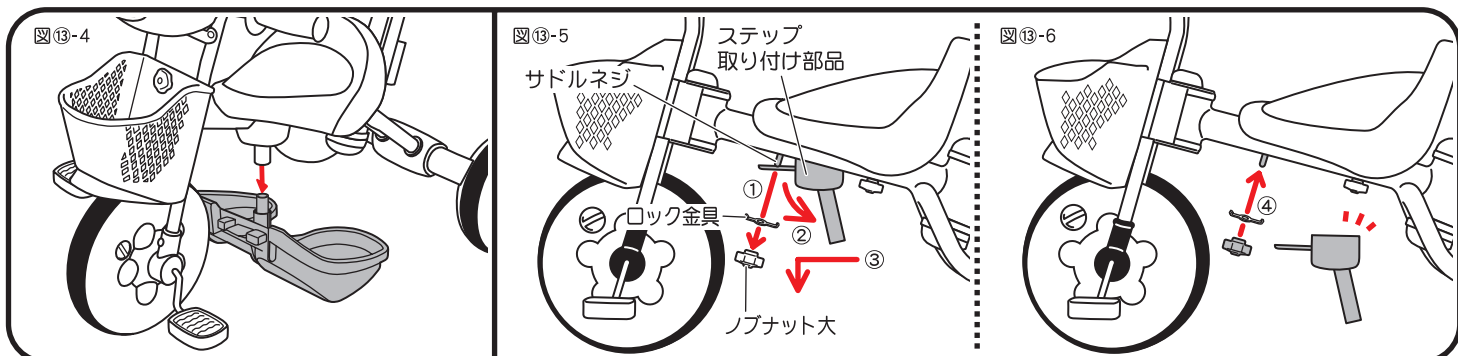
●漂白剤や入浴剤などの入った水は使用しないでください。

●アイロンがけはしないでください。

●ドライクリーニングはしないでください。

## ⑬ ステップの取り外し方法

・ツメを押し上げながらステップ差し込み部からステップホルダーを抜きます。

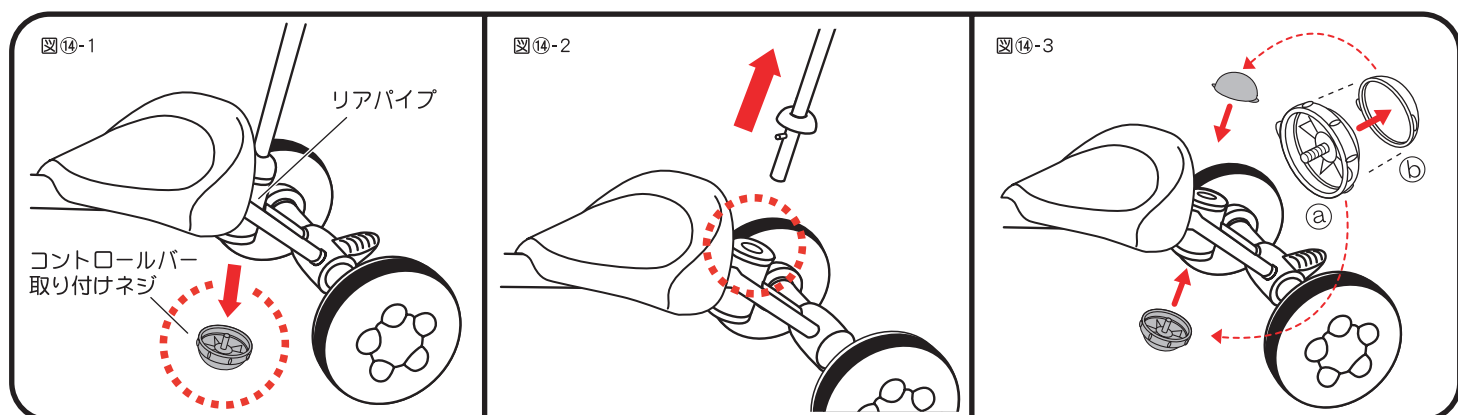
・ステップホルダーをフレームパイプから取り外します。

・ステップを固定しているノブナット小(赤)をゆるめ、角根ネジ小を抜きます。

・ステップを取り外します。

・①サドルネジからノブナット大とロック金具を外します。②ステップ取り付け部品を傾けます。③前方へスライドさせ取り外します。④ノブナット大とロック金具を再度取り付けます。

**注 意**

●ステップの取り外しは保護者が行ってください。
●ノブナットはしっかりと固定してください。
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

## ⑭ コントロールバーの取り外し方法

・コントロールバー取り付けネジをリアパイプから外してください。

・ハンドルを直進位置(左右に曲げない)にして、コントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。

・コントロールバー取り付けネジをⓐとⓑに分離し、ⓐはリアパイプの下に、ⓑはリアパイプの上に取り付けてください。

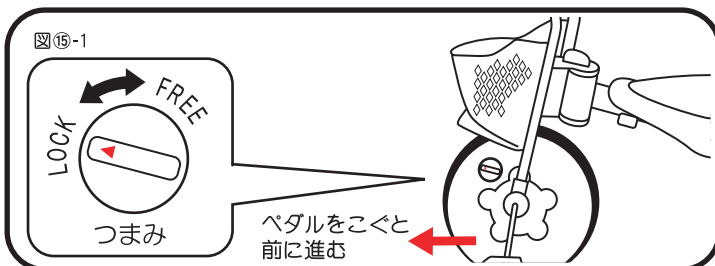
**⚠警告**

●コントロールバーを外した後は必ずⓐⓑ部品を取り付けてからご使用ください。ⓐⓑ部品を取り付けずに使用するとケガをする恐れがあります。

**注 意**

●ⓐⓑ部品の取り付け、取り外しは保護者が行ってください。
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬ怪我の原因になります。また小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

# ⑮ ロック＆フリーの取り扱い

## ●ロック状態

・お子様がペダルをこいで使用する場合は『つまみ』の▲印をLOCK( ロック )に合わせてください。

〔つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。〕

## ●フリー状態

・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE(フリー)に合わせてください。

〔つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。〕

**フリー機能の説明**　フリーにしても前輪とペダルが一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどに当たっても三輪車が不意に止まってしまったり、お子様がペダルとステップの間に、万が一足を挟んでも怪我をしないようにするための機能です。

**必ず確認してください。**　ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック & フリー機能をフリーにしてください。ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

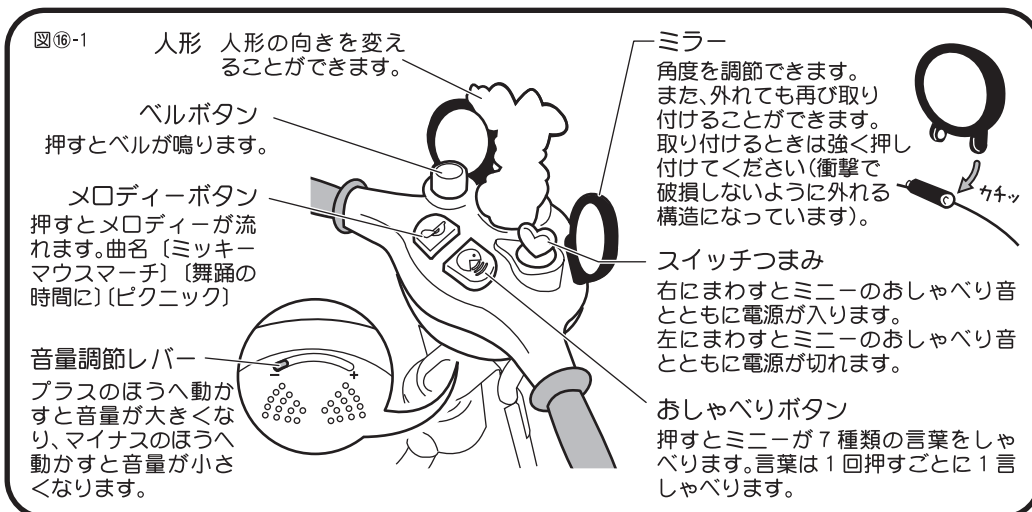
**⚠警告**

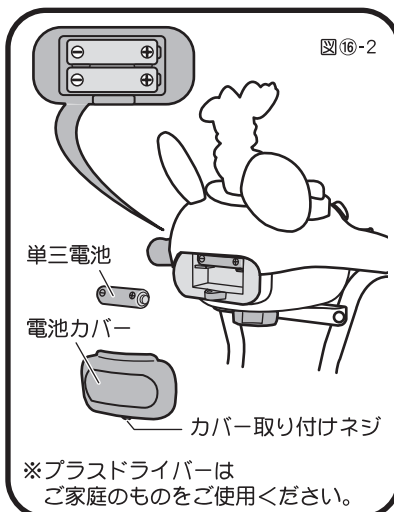
●ロックの状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
●お子様が三輪車に乗った状態でのロック＆フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

**注 意**

●ロック＆フリーの切り替えは、保護者が行ってください。
●ご使用になる前は、必ずロック、フリーの確認を行ってください。
●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。

# ⑯ ブザーの取り扱い

## ●ブザーの遊び方

・スイッチつまみ・おしゃべりボタン・メロディーボタン・ベルボタンで遊べます。ブザー底面には音量調節レバーが付いています。
・電源を入れてから５分間何も操作をしないと、一時的に電源が切れます。どれかボタンを押すと再度電源が入ります。しばらく使用しない場合はスイッチつまみを左へ回して電源を切ってください。

## ●電池の交換

・カバー取り付けネジをプラスドライバーでゆるめます（カバー取り付けネジは、電池カバーから外れません）。
・単三電池２本を交換してください。

**注 意**

●ブザー本体が確実に固定されていることを確かめてください。
●ブザー本体及びスイッチ・ボタン類は水に濡らさないでください。故障の原因になります。
●充電池(ニカドなど)およびニッケル系乾電池(オキシライド乾電池など)は使用しないでください。
●電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなったり、途中で途切れることがあります。早めに電池を交換してください。
●寿命の尽きた電池をブザーに入れたままにしないでください。液もれ等により故障の原因となります。
●カバー取り付けネジはカバーから外れない構造になっていますが、万が一分離した場合はネジの紛失や誤飲にご注意ください。